

運営委員長賞

C17-06-1045 前川 遙樹（京大院農）

『国産広葉樹材の振動特性と熱処理による影響の検討』

前川遙樹，村田功二，仲村匡司

①スライド作成で工夫した点

楽器や音という学術的には馴染みが浅い分野の複雑な理論・数式等が呈示された場合、限られた時間では理解が追い付かないと考えビジュアル資料を多く掲載し視覚的に把握できるようにシンプルなデザインにした。

②スピーチで工夫した点

アカデミックな語り口から多少離れても内容理解を重視して噛み砕いたフランクな言葉で説明し、要点に意識を誘導するなど聴衆に語り掛けるような話し方・立ち振る舞いを心掛けた。

③練習方法等

原稿を読み上げると会場への視野が狭まり機械的で独りよがりなスピーチになると考え、原稿やノートは一切用意せず反復練習でスピーチ内容定着と時間調整を図った。質疑にしっかり応答することで内容理解と成果への信頼につながると考え質疑のシミュレーションと回答の用意、また不明な点はごまかさず解決策や課題として将来に向けた自分の考えを提示することを心掛けた。さらに指導教官や同僚などに適宜批評してもらい第三者の意見を取り入れて発表直前まで最適化した。